

# 行政視察等報告書

平成29年 7月19日

境港市議会  
議長 岡空 研二 様

会派名 公明党  
代表者 田口 俊介



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察等期間	平成29年5月10日（水）
2 視察等先 及び内容	5月10日（水）13:30～15:00 島根県安来市  安来市における「子ども食堂」の実施について ～社会福祉法人せんだん会「どじょっこ食堂」の取り組み～
3 視察等議員	田口 俊介、足田 法行
4 総 経 費	合計（2名） 508 円 （一人当たり 254 円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

内 容： 安来市における「子ども食堂」の実施について

～社会福祉法人せんだん会「どじょっこ食堂」の取り組み～

報告者： 田口 俊介

所見等：

【説明者】社会福祉法人せんだん会 ワークセンターやすぎ所長 加藤 雅樹 氏

### 【概要】

「どじょっこ食堂」を運営する社会福祉法人せんだん会は、老人福祉、障害者福祉、児童福祉の各サービスの他、研修施設など16の事業を行っている法人で、「子ども食堂」については、平成28年4月よりスタートされたとのことです。

食堂については、もともと同法人が就労継続支援A型事業所である「ワークセンターやすぎ café grill どじょっこ」を平成11年より運営しており、その定休日である日曜日を利用して、昼食のサービスとしています。

食堂の内容については、料金は大人・子ども共に200円のバイキング形式で、ドリンク・デザートもありメニューは豊富です。経費については、料金収入だけでは当然まかないきれず、材料費・人件費（調理1名、ホール1名）・宣伝費その他で、開始後1年間の総額は150万円を超えており、その内、料金収入は3分の1、残りは補助金や寄附、法人の持ち出しでまかなっているとのことでした。

運営については、参加対象を貧困世帯や生活困窮世帯などに絞らず、チラシなどの記載もあえて間口を広くすることで、「子ども食堂」に対しての差別感をなくすよう気を配っているとのことでした。食堂の利用は前日までの予約を基本としていますが、当日の参加も可能で、予約は名前と人数のみで受け付けています。利用者数は、施設のキャパシティが約60名に対し、平均利用者数は約40名とのことです。

広報・宣伝については、チラシを地元紙に折り込みする他、市内の保育所、図書館、市民プールなどにチラシを置いているそうです。地域・自治会等への回覧なども検討したそうですが、「営利事業」と判断されることから、市の許可が出ないということでした。

今後の課題や展望としては、事業スタート1年を経て、どのように定着化を図るか、そのための広報については「声のかけ方、声の届け方」に工夫が必要との認識でした。また、今後は、「子ども食堂」をベースに、学習支援や子ども同士のつながりの場といった様々な展開についても考えていきたいとのことでした。

### 【所見・考察】

今回、お話を伺った「どじょっこ食堂」は、社会福祉法人が自身の持っている資源を活用して実施をしておられ、法人としての地域貢献という側面もあり内容もか

なり充実していると感じました。安来市内ではこちらの他にも、NPOや学童保育などが主体となって実施されている「子ども食堂」もあり、様々な実施主体の「子ども食堂」について、調査・研究を深める必要も感じたところです。

鳥取県においては、県内の「子ども食堂」について実施箇所を増やしていくための支援を打ち出しており、本市においてもいくつか検討されているように聞いていますが、実施主体に見合った運営方法と、それを支える仕組みを構築するために、現場の各市町村がどのように関わっていくのかが重要であると考えます。